

八幡山の洋館（旧横浜ゴム平塚製造所記念館）

邸園の概要

所在地 平塚市浅間町 1-1 八幡山公園内
※移築前 平塚市追分 2 番 1 号
建設年 明治 45 年（1912）頃
構造 木造／平屋建（塔屋付）／平鉄板葺
その他 国登録有形文化財（平成 16 年 7 月 23 日）



明治ゆかりの邸園

旧横浜ゴム平塚製造所記念館（愛称：八幡山の洋館）は、明治 38 年に平塚市に設立した日本火薬製造株式会社が英人技師のために建設した建物です。

邸園の概略

八幡山の洋館（旧横浜ゴム平塚製造所記念館）は、日本火薬製造株式会社の敷地内に建設された明治期の木造洋館建築です。

建物は、古典的な塔屋を戴いた美しいバランスの良い主屋の応接室に、ビリヤード室と食堂を備えたこじんまりとした平屋建の洋館で、東・南面をベランダで囲んだコロニアル風の造りとなっています。窓は上げ下げ窓で、ビリヤード室は 2 つのベイウインドウが設けられているのも大きな特徴です。

建物は、大正 8 年（1919）から日本海軍が買収して海軍火薬廠となり、海軍の将校クラブの集会所として大戦終結まで使用されました。大正 12 年（1923）9 月の関東大震災、昭和 20 年（1945）7 月の平塚大空襲にも破壊を免れ、昭和 25 年（1950）からは横浜ゴム株式会社の迎賓館として使用されましたが、老朽化によりその役割を終え、平成 14 年（2002）に平塚市に無償譲渡されました。

その後、国登録有形文化財に登録後解体し、平成 21 年に現在地に移築・再建され、新たな文化財としての使命を帯びて、現在一般公開されています。

日本火薬製造株式会社は、明治 38 年 12 月に日英同盟のもと日本海軍とアームストロング社、チルウォース社、ノーベル社の英国 3 社の合弁会社として平塚町と大野町（現平塚市）に跨る官有地と民有地を買収した土地に、支店として設立されました。

平塚市に設置された日本火薬製造株式会社は、その後の多くの軍需工場進出の礎となり、平塚市の工業の発展に大きく影響を与えたとともに、平塚が空襲を受ける一因ともなりました。この建物は、平塚市唯一の明治期の建物として貴重な遺構です。